

●市花／さくら



●市木／紅葉 もみじ



## 佐賀県神崎市

〒842-8601 神崎市神崎町神崎 410 番地  
TEL0952-52-1111 FAX0952-52-1120

<http://www.city.kanzaki.saga.jp/>



神崎  
KANZAKI

# 遺跡息づく歴史の里

## 〔目次〕

2 ページ～	自然が輝く～水と緑の交響詩～
4 ページ～	神埼の四季～移る彩りに心癒され～
6 ページ～	観光マップ～来てみんしゃい神埼～
8 ページ～	輝く歴史～時空を超えてよみがえる～
12 ページ～	伝統継承～民俗芸能の宝庫～
14 ページ～	郷土の偉人～今に伝える道標～
16 ページ～	特産品～自然の恵み、豊かな産物～
18 ページ～	力強く活気あるまちづくり
20 ページ	環境に優しく住みやすいまちづくり
21 ページ	みんなで協働するまち
22 ページ～	健やかに安心して暮らせるまち
24 ページ～	創造性豊かで輝く人のまちづくり
26 ページ～	ふれあい～あふれる笑顔 心はひとつ～
28 ページ	市民とともに神埼創造～行政・議会～
29 ページ	発行にあたって

## 神埼市章



市の頭文字「か」をモチーフに神埼町、千代田町、脊振町3町の豊かな自然をイメージ。太陽と山、川を赤、緑、青で表現し、神埼市が掲げる「自然と歴史と人が輝く未来都市」を表現しています。

## ～潤いと活力を次世代へ継ぐ、 夢創造都市を目指して～

神埼市は2つの県都（佐賀市及び福岡市）に隣接するという全国でも数少ない立地特性を有しており、また、広域的な交通ネットワークの整備進展等によって、今後はますます産業立地の可能性が増大していくものと考えられます。

加えて、脊振山、九年庵や長崎街道など市内の自然や歴史遺産を活かした観光・集客・交流の仕組みづくりを進め、全国的に認知度が高い吉野ヶ里歴史公園を拠点として、神埼ブランドを作り上げていくことを目指します。

### 地勢

神埼市は、佐賀県東部に位置し、東は吉野ヶ里町・みやき町、北は脊振山地を挟んで福岡市、南は筑後川を隔てて久留米市・大川市、西は県都佐賀市に接しています。

総面積 125.01 km<sup>2</sup>で、城原川が中心部を南北に貫流し、市北部は脊振山系の山間地域、市南部は肥沃な佐賀平野となっています。

### 市域の特性

脊振町エリアは脊振山地の豊かな自然環境を生かし、市民のレクリエーション・憩いの場となっています。神埼町エリアは、中心的機能を担い、教育・文化・商業・スポーツ等の施設が集積しています。南部の千代田町エリアは、水田とクリークの田園地帯が広がる農業主体の地域です。

吉野ヶ里遺跡の日の出

### 神埼市の沿革

明治 22 (1889) 年 4 月	明治の大合併により脊振村、神埼村、西郷村、仁比山村、境野村、城田村、千歳村が誕生
明治 26 (1893) 年 4 月	神埼村が町制を施行、神埼町となる
昭和 30 (1955) 年 4 月	昭和の大合併により、神埼町、西郷村、仁比山村が合併して神埼町が誕生 境野村、城田村、千歳村と蓮池町の一部が合併して千代田村が誕生
昭和 40 (1965) 年 4 月	千代田村が町制を施行、千代田町となる
平成 18 (2006) 年 3 月	脊振村、神埼町、千代田町が合併して市制を施行、神埼市となる



日の隈山から見た神埼市

脊振山頂から望む福岡市

# 自然が輝く～水と緑の交響詩～



城原川の源流・脊振の山並み



樹氷に覆われる冬の脊振山

## 表情豊かな自然

北は脊振山地を分水嶺として福岡市と接し、南は「筑紫次郎」とも呼ばれる筑後川が流れる神崎市。

深い森をなす山間部と、広々とした田園地帯。標高差 1000 にもおよぶ地形は、変化に富んだ自然を創りだしています。

山に降り注いだ水はせせらぎを生み、やがて溪流となり大きな川へ。森を育み、穀倉地帯を潤します。

豊かな自然が奏でる「水と緑の交響詩」は、人々の暮らしと深く関わってきました。



脊振登山道にある源流の沢

## 市内を貫く城原川の流れ

南北に長い神崎市の中央を貫いて流れる城原川は、流域にさまざまな恵みをもたらし、市民を結びつける象徴的存在にもなっています。

小さな沢が次第に集まり、脊振神社あたりから眼鏡橋付近までは、大きな岩を縫うようにして一気に駆け下ります。神崎町仁比山地区が山から平野部への分岐点。傾斜が緩くなるにつれ、ゆったりした流れになり、数多くの堰で分けられた水は田畑を潤します。

春の堤防は、黄色い菜の花で覆われ、道行く人の目

を楽しませます。

下流では川の様子が一変、有明海の満ち潮が南から上ってきます。かつては、潮の表層部の「アオ」と呼ばれる淡水を取水する独特の農法も行われていました。潮が引くと、川床に有明海のような潟土が姿を見せます。

流れは千代田町黒津付近で佐賀江川に合流。31.9 ㎢の城原川は、やがて佐賀江川、諸富川、筑後川を経て有明海に引き継がれます。



城原川に咲き誇る菜の花



お茶屋堰付近の城原川。干潮時には潟土が現れる



城原川の水も流れ込む有明海のり漁場の日の出



城原川（右）と佐賀江川（左）の合流点。やがて筑後川へ



# 神埼の四季～移る彩りに心癒され～



## 春

春は花。とりわけ桜の見どころは多い。下流から徐々に開花していく城原川岸の桜街道。日の隈、仁比山公園は市民の憩いのスポット。一本桜として人気が高いのが宝珠寺のしだれ桜だ。

## 夏

生命が躍動する夏。山並みは深い緑に包まれ、城原川の清流が光る。下村湖人の名作「次郎物語」に登場する蓮の花が、清楚に揺れるクリークのたたずまいも、ふるさとの憧憬だ。



## 秋

山装う季節。春振の自然遊歩道を歩くと、ブナやカエデ、ツタなどの錦がハイカーの心をなごませる。国の名勝「九年庵」は紅葉の名所として名高い。



## 冬

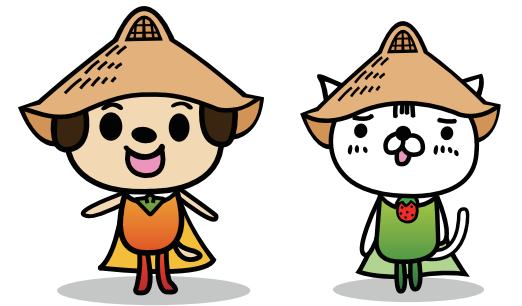
吉野ヶ里遺跡の冬。訪れる人は少ないが、だれも踏みしめていない雪原が広がる風景は、現代の喧騒から離れて古えをしのぶには、またふさわしい。



## 光と遊び 人とふれあう

### 春の九年庵一般公開

紅葉の名所として全国的に知られる九年庵を秋だけではなく、平成22年から春にも一般公開。鮮やかな新緑と苔の美しさが人気を集めています。



九年庵をモチーフにしたゆるキャラ「くねんワン」「くねんニャン」



## 神埼の恵みを販売

地元特産物を扱った3つの直売所もお立ち寄りスポットです。



高取山公園農産物直売所



吉野ヶ里遊・学・館



菱の里ちよだ

# 観光マップ～来てみんなしゃい神埼～

## ふ ところ深い自然と歴史

脊振の山なみを源とする城原川の流れ。川に沿うように平野部の河口まで伸びる南北に長い地形の神埼市。

脊振山系の尾根伝いに九州自然歩道が走り、自然散策やハイキング、森林浴に最適。太古から江戸時代まで遺跡の連なる歴史の宝庫であり、ひと味違った歴史文学散歩も楽しめます。



1 吉野ヶ里歴史公園



2 九年庵



3 九州自然遊歩道

4 三段滝



5 浄徳寺のシャクナゲ



6 水車の里



7 広滝第一発電所



8 仁比山神社



9 仁比山公園



10 横武クリーク公園



11 下村湖人家



12 筑後川と六五郎橋



観光

# 輝く歴史～時空を超えてよみがえる～

## クニの成り立ちを示す超一級遺跡

### 国特別史跡吉野ヶ里遺跡

神崎市と吉野ヶ里町の丘陵地 45 ㍍以上に広がるわが国最大規模の弥生時代環壕集落「吉野ヶ里遺跡」。神崎市の多くの遺跡の中でも燦然と輝いています。吉野ヶ里遺跡からは、中国の史書「魏志倭人伝」に記されている楼観や環壕、城柵を備えるとともに、宗教拠点としての北内閣、政治拠点の南内閣、経済拠点の市や倉を持つなど、邪馬台国時代の「クニ」の首都機能を持つ姿が発掘されました。

紀元前 3 世紀、草分け的集団によって環壕集落が営まれて以降、600 ～ 700 年にわたって、肥大、変化を続けてきました。「クニ」が成立してまとなり、更に大きな社会を形成していく過程を説明できるわが国唯一の超一級遺跡です。



歴代の王が埋葬されている「北墳丘墓」

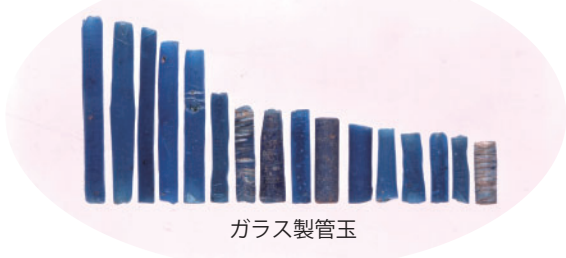


一般の人が生活していた「南のムラ」

### 弥生の国際交流都市

丘陵の北方 800 ㍍には歴代首長を埋葬した墳丘墓があり、国指定重要文化財の有柄銅剣やガラス製管玉、絹製品など学術的に貴重な出土品が数多く発掘されました。クニの運営に当たっては渡来系の弥生人が主導権を握っており、朝鮮の技術によると見られる銅鏡や

銅剣、銅鐸もここで製造されています。中国や朝鮮半島、日本列島各地からいろいろなものが集まり、吉野ヶ里王国は今日でいう国際交流都市でもありました。



ガラス製管玉



有柄銅剣

## 旧石器時代から貴重な遺跡群

神崎市は弥生時代の吉野ヶ里遺跡だけでなく、約 2 万 5 千年前の旧石器時代から縄文、弥生、古代、中世を経て江戸時代まで連綿と遺跡が続くまちです。旧石器時代には船塚遺跡（神埼町）などで石器を作って狩猟生活。この時点で既に、遠く、畿内の人たちと交流していたことを出土品が示しています。

縄文時代後期には稲作文化が大陸から入ってきて、徐々に山麓、平野部での農耕生活に移行していきました。有明海が干陸化して南下するのと、歩調を合わせ

るように弥生の遺跡群も、国道 264 号あたりまで広がりを見せ、生活圏もだんだん南部へ移っていったことを示しています。

古代の山麓部には古墳群が帯状に広がっています。代表的なのは、神埼町志波屋にある県内屈指の前方後円墳「伊勢塚」古墳です。6 世紀後半の築造とされます。古代には大宰府政庁と肥前国府を結ぶ「官道」も走っていました。「危険」を知らせる烽火（とぶひ）「日の隈山」もあり、太古からの重要拠点でありました。



船塚遺跡全景と出土した国府系ナイフ型石器



脊振の縄文遺跡が眠ると見られる城原川沿い段丘



黒井遺跡出土の朝鮮系土器



前方後円墳の伊勢塚古墳

# 輝く歴史～時空を超えてよみがえる～

## 皇室も手放さない「神埼荘」

かんざきのしょう

### 日宋貿易の重要拠点

古代から中世にかけて神埼市は皇室領「神埼荘」<sup>※</sup>の中心地として栄えました。平氏の基盤のひとつとして築かれた「神埼荘」は、成立した836年には690町歩でしたが、13世紀後半の鎌倉時代には全国有数の3,000町歩に拡大していました。加えて、有明海や筑後川に近い海上交通の要衝だったこともあって、国内交易、日宋貿易による利益も巨額に上り、皇室も手放せない重要な荘園になっていきました。

櫛田宮は神埼荘の中核的神社として、都とのかかわ

りが特に強く、神社の宮司職は天皇の命で都から派遣されていました。筑後川に近い蔵戸津（神埼町）からは交易や貿易を取り仕切る役所跡や木簡などが出土しました。弥生時代に引き続き、神埼は国内外交易の重要拠点として輝いていました。

中世から戦国時代までは国史跡の環濠城郭・姉川城、直島城をはじめ、山城跡と麓の台地上に形成された館・屋敷・市場など広大な城下町で構成される勢福寺城など戦国武将の居城も築られました。

※「神埼」は、中世の古文書には「神崎」という文字が多く使用されていました。



蔵戸津の役所跡・荒塚目遺跡の発掘現場と出土した木簡



神埼荘の中核明神だった櫛田宮

「蔵吉 人」の文字が書かれており、蔵戸津に着いた荷もしくは人の内容を記したとみられる。



戦国武将の居城だった勢福寺城跡



国史跡の姉川城跡

## 西 欧文化運んだ長崎街道

### 面影残す神埼宿、境原宿

長崎街道が注目されたのは鎖国令（1639年）発布からです。そこから江戸へ向けて、西欧・アジアの人、もの、情報が通った「近世のシルクロード」です。神埼には神埼宿と境原宿がありました。神埼宿は中世に櫛田宮の門前町として形成され、毎月決まった日に市が立ち、商売人や買い物客でにぎわっていました。ドイツ人医師シーボルトなどの旅日記によると「約1,000戸の細長い町並みで、多くの社寺がある」とあります。

宿場の東西の入り口には木戸が置かれ、要人の休憩・宿泊施設として本陣、脇本陣が設けられました。シーボルトや日本地図を作った伊能忠敬が宿泊したとの記録もあります。長崎街道「ひのはしら一里塚」は街道筋で唯一現存している史跡です。

境原宿は「人家140、茶屋50、宿屋あり」と尾張の商人が記録しています。蠟問屋があつて白壁土蔵が並び、数珠が宿場の名物でした。商売繁盛を祈願する恵比寿像が3体残り、当時をしのばせています。

長崎街道神埼宿の西木戸口



今も面影残る長崎街道神埼宿

長崎街道で唯一現存するひのはしら一里塚

## 歴 史文化生かしたまちづくり推進

神埼市は市内全域に数多く残っている全国的にも有名な歴史遺産を今後のまちづくりに活かしていく政策を実施しています。そのために「神埼市歴史文

化遺産を活かしたまちづくり基本計画」を策定し、遺産の保存や再発見、学習の場としての「神埼塾」の開催などを進めています。



市内の遺跡を探访する神埼塾のメンバー



まちづくりの中心となる旧古賀銀行神埼支店跡

# 伝統継承～民俗芸能の宝庫～

## 豊かな歴史が育んだ民俗芸能

山笠で知られる博多・櫛田神社のルーツでもある神埼町の櫛田宮のみゆき大祭（隔年で開催）。県重要無形民俗文化財の太神楽や縮元行列が華やかに練り歩き、高志狂言も奉納されます。神埼町仁比山神社の県重要無形民俗文化財の御田舞は12年に一度の申年の大祭で舞われます。的を射て豊作や平穏を祈る神埼町横武の百手まつりも興味深い風習です。

かつて山岳仏教の聖地だった脊振町の脊振神社には山伏が火渡りをして煩惱や邪気を払い、平穏を祈願する護摩焚きが行われています。



脊振神社の護摩焚き



横武の百手まつり



仁比山神社大御田祭の御田舞



櫛田宮みゆき大祭の太神楽

## 荘厳、しなやか、勇壮に伝統行事

千代田町の高志神社では秋祭りに狂言が奉納されます。この「高志狂言」は全国でも3カ所しか残されていない驚流の流れを汲む県重要無形民俗文化財です。千代田町冠者神社の女浮立・獅子舞は鐘の音

に合わせての優美な舞で知られています。千代田町にはこのほか、姉地区の七福神や大島地区の勇壮な水かけ祭りなど珍しい行事が伝承されています。



高志狂言



姉の七福神



大島の水かけ祭り



冠者神社の獅子舞



小森田の女浮立



# 郷土の偉人～今に伝える道標～

## 下村湖人

### 名作「次郎物語」を執筆

下村湖人 (1884年～1955年) 千代田町崎村生まれ。小説家・歌人・教育者。本名は虎六郎。

佐賀中学校、熊本第五高等学校、東京帝国大学英文科卒。佐賀中学校時代から、内田夕闇の筆名で雑誌に詩歌を投稿。熊本第五高等学校では、高田保馬とともに五高校交友誌「龍南」の編集委員を務め、東京帝国大学在学中には、「帝国文学」に小説や詩歌を発表。大学卒業後に母校の佐賀中学校教師や鹿島中学校校長などを歴任しました。

教職辞任後は、同郷で高校・大学同窓の田澤義鋪とともに社会教育に尽力。青少年に影響を与えた『次郎物語』の執筆で知られる。ほかに「凡人道」「論語物語」「この人を見よ」など多くの著作があります。1955年4月20日、70歳で死去。



「白鳥入盧花」の碑



湖人生家で行われる次郎物語読書会



湖人の代表作「次郎物語」

## 吉田絃二郎

### 小説、戯曲など多彩な活躍

吉田絃二郎 (1886年～1956年) 神埼町本告牟田生まれ。小説家、随筆家、戯曲家。本名は源次郎。

佐賀工業学校金工科 (現在の佐賀県立佐賀工業高等学校機械科)、早稲田大学文学部英文科を卒業。

1915年 (大正4年) に早大講師、1924年に同大文学部教授となる (教え子には井伏鱒二等がいる)。1934年 (昭和9年) に早大を退職し作家活動に専念。小説・随筆・評論・児童文学・戯曲と幅広い分野で活躍。出世作となった小説『島の秋』(1917)、当時のベストセラーとなった随筆集『小鳥の来る日』(1921)、戯曲『西郷吉之助』(1924)など多くの作品があります。1956年4月21日、69歳で死去。



「吉田絃二郎生誕の地」の碑

大正十年(一九二二) 随筆集「小鳥の来る日」―筑紫の秋より―

国境の山がかすみ、雲仙嶽が黒い影につつまれるようになると、幾重もつづいた植の土堤がもやに つつまれて来るのであった。 録ももった農夫や釣竿とかついで 男たちが黙って稲のなかと、 もやのなかへと消えていくのであった。 あの時代のことを思うとほんとうに 泣き出したいほどなつかしい気がする。 筑紫の秋よ、お前を想う時 私の胸は疼く。 吉田絃二郎



日の隈公園内にある吉田絃二郎顕彰碑

## 伊東玄朴

### 牛痘接種、初めて成功

伊東玄朴 (1800年～1871年) 神埼町仁比山生まれ。医者・蘭学者。自宅で漢方医を開業。

1823年、長崎でシーボルトに蘭学・蘭医学を教わり、4年後と一緒に江戸へ出て蘭方医となりました。当時、不治の病といわれていたジフテリアを治し、医者としての名を確立。1849年、牛痘種法をわが国で初めて成功させ、のちに玄朴が中心になって種痘所を建設しました。これが後の西洋医学所となり、現在の東京大学医学部につながっています。蘭方医として初めて將軍の侍医になり、医官最高の奥御医師となりました。わが国西洋医学の基礎を確立するとともに、多くの優秀な人材を育成しました。

仁比山の九年庵そばにある旧宅は玄朴が20歳の時に建てたものです。昭和48年佐賀県史跡指定。



伊東玄朴旧宅



直正公嗣淳一郎君種痘之図

## 徳川権七

### 林業振興で「税金のない村」築く

徳川権七 (1855年～1924年) 脊振町久保山生まれ。政治家。1904年、脊振村長就任。翌年、国有林3000畝の払い下げを受け、年間60畝ずつ50年間植え続ける壮大な植林計画を実施。5期17年の村長在任中、村民に植林を強制したため造林反対運動が発生。役場襲撃、村長停職などにも遭ったが、リーダーシッ

プを發揮して村民を説得、脊振村の林業の基礎を築きました。村有林財産収入が村財政を大きく潤し、権七翁没後35年 (昭和34年) に村は村民税を廃止、「税金のない村」として全国的话题になりました。村の将来のため、「100年の大計」を地で行く傑物でした。



徳川氏辞世の句  
けふいくも 三千のやまらに 植まよば  
むらにのこして たつぞうれしき



# 特産品～自然の恵み、豊かな産物～

## 付 加価値高い作物導入

基幹産業の農業は米、麦、大豆、園芸で成長してきましたが、近年では内外価格差、品質競争の激化など取り巻く環境が大きく変化しました。

そんな中、平野部ではイチゴ、ナス、アスパラ、小ねぎなどの施設園芸、山間部ではシイタケや干し柿などに加えてホウレンソウ、ピーマンなどの高冷地野菜が栽培されています。また、有明海では海苔が生産されています。

多様化する消費者ニーズに応えられるブランド力のある特産品開発、より付加価値の高い作物の導入を模索しています。



イチゴをはじめ施設園芸も盛ん



人気が高いアスパラガス



山間部の特性を活かしたホウレンソウ栽培



秋になると見られる干し柿作り

## 創 れ、売り出せ神埼ブランド

神埼ブランドといえば、380年の伝統を誇る神埼そうめん。「全国そうめん産地」として初の「地域ブランド」に認定されました。



オリジナルメニューの「そうめんコロケ」



長崎街道 神埼宿場茶屋



神埼そうめん

そうめんをいかした独自商品の開発にも取り組んでいます。ユニークなアイデアで誕生した「そうめんコロケ」や市内の割烹料理店8店が協力して考えたメニュー「そうめん懐石」が人気となっています。

また、特産品である菱の実を使ったオリジナルの焼酎開発にも取り組んでいます。



菱の実



新たなブランドを作り国産にこだわった菱の焼酎

# 力強く活気あるまちづくり

## 四 方に広がる交通網



物流の大動脈となる長崎自動車道

### 2つの県都に隣接 便利なアクセス

市のほぼ中央をJR長崎線と国道34号が東西に横断し、その北部に長崎自動車道が走っています。南部には佐賀市と久留米市を結ぶ国道264号があります。これと交差して神崎市と福岡都市圏を結ぶ国道385号や県道21号が伸びています。福岡都市圏や福岡空港へも50分程度でアクセスできます。JRも佐賀駅まで10分、交通利便性の高い地域です。



久留米市へつながる国道264号

快速電車も停車し、通学に便利なJR神崎駅



神崎市と佐賀市を結ぶ国道34号



福岡県とを結ぶ国道385号

## 地の利生かして産業振興

雇用確保と定住人口増加、地域活性化のため、地場企業の経営革新への支援とともに、新しい産業の誘致に努めています。特に、高速道路インターチェンジに近く、大牟田・久留米地域や福岡都市圏とつな

がる国道・県道などの幹線道路を機軸としたエリアを「工業立地ゾーン」と位置づけています。また、産学官の連携による企業連絡協議会を立ち上げ、情報交換や人材育成に力を入れています。



九州積水工業（千代田町）



トヨタ紡織九州（神崎町）



ヤクルト（神崎町）



サンケミカル九州（脊振町）



企業連絡協議会

交通

産業

## 自然と共生 潤いある生活

### 「田舎暮らし」に関心

大自然の中で生活しようという「田舎暮らし」が増えていきます。ユニークなのは当時の脊振村が定住促進のため平成8年から進めた、いわゆる「100円宅地」政策。約10年間で1区画120坪の宅地62区画を貸し出し、約220人が脊振に定住。若い既婚世帯を対象にした若者賃貸住宅も20戸建設、約80人が住みつき、人口減の歯止めになりました。「定住人口」の増加は脊振地区だけでなく神崎市全体がめざしています。



神崎町小津ヶ里地区の新興住宅地



脊振町の100円宅地「サンライズヒル」



住宅に設置された太陽光発電パネル  
神崎町犬の目バインピア付近

### エコロジー政策を推進

神崎市総合計画に基づき、「環境にやさしく住みやすいまちづくり」を市政運営の基本方針として、「環境共生型社会の構築」を目指しています。その一つとして、住宅用太陽光発電システムの設置費補助金や、市役所南別館、はんぎーホール、市中央公園体育館に太陽光発電システムを設置して、温室効果ガス排出削減に努めています。また、ごみや排水処理などの環境施設も充実しています。



脊振広域クリーンセンター



三神地区汚泥再生処理センター



神崎浄化センター

## 市民参加がキーワード

多様化・高度化する市民のニーズに対応するとともに、自立したまちづくりを進めていくには、市民参加や、市民と行政との「協働」が欠かせません。市南部の田園地帯ではクリークに囲まれた生活環境をよ

くするため、自ら額に汗してクリークのごみ上げをするなど、共同作業に取り組んでいます。

協働をさらに進めるため、多様な市民団体、ボランティア、NPOを育成、支援していきます。



住民参加のクリーン活動



### アサザ保存会

準絶滅危惧種に指定されているアサザを保全する活動を行っています。秋に観察会を開き、自然の大切さを訴えています。

### CSO かんざき

地域で活動する団体の支援やネットワークづくりに取り組み「長崎街道かんざき宿場まつり」の事務局を務めています。元気な地域作りをめざして、シンポジウムや地元の見聞ツアーなども開いています。



定住

協働

# 健やかに安心して暮らせるまち

## 笑顔で楽しく 人生満喫

高齢者が安心して自立した生活が送れるよう、日常生活を支援しています。神崎市が実施しているデイサービスには5ヵ所で年間延べ12,000人の高齢者が楽しく通っています。ボランティアの支援も得て、ゲームやレクリエーションを行っています。また、介護予防事業の一環として特定高齢者通所型事業「シャンシャン教室」を2ヵ所で開催し、工夫しながら高齢者の心と体の健康に気を使っています。保健・医療面では「自分の健康は自分で守る」市民の自主的な健康づくりを応援するとともに、生活習慣病対策として、若いうちから予防、早期発見、早期治療ができるよう住民健診の充実を図っています。また、障がい者が住み慣れた地域で安心した生活を営めるよう地域や関係機関との連携を進めています。



社会福祉協議会によるお楽しみ会



住民健診の様子



ざわやか健康教室



筋力アップ講座

## みんなで育てよう 地域の子

### 子育て支援の推進

「次世代育成支援行動計画」のもとに、市民すべてが子育てを温かく応援するまちづくりをめざしています。子どもの未来を見つめながら心豊かな人間に育てるため、市民グループやボランティアの動きが活発になっていることはうれしいことです。神崎市の自然と風土の中で、子どもが伸び伸びと、たくましく生きる力を伸ばせるよう学校、家庭、地域の教育力向上に取り組んでいます。



図書館おはなし会



子育て支援センター「ひだまりの会」



子育て相互支援事業(子育てファミリー・サポート)

### 楽しく体験学習

毎週水曜日に地域の方々の協力を得て、水鉄砲やうどん作りなどを行うドリームパークは子どもたちにとっても人気があります。放課後児童クラブとともに、7つの小学校全部で取り組んでいます。



ドリームパークでの取り組み

# 創造性豊かで輝く人のまちづくり

## 次 代を担う人材育成

### 伝統保存へ小中学生も一役

千代田中部小学校には「高志狂言クラブ」があります。高志地区の保存会の指導を受け、10月の高志神社例祭で奉納します。小学校で狂言の伝承に取り組んでいるのはとてもユニーク。伝統芸能に親しみ、受け継いでいく若い力は頼もしい限りです。

また、子ども能教室ではプロの能楽師や狂言師を招いて直に伝統芸能に触れる機会も提供しています。



子ども能教室

### 中学校生徒会が共同行動 「かせち条約」で5つの誓い

3つの中学校の生徒会役員は定期的に中学生サミットを開いています。将来の神崎市を担う中学生として、「礼儀作法」「文武両道」「規則厳守」「思いやり」「環境保護」の5つの誓いを決めました。それぞれの中学校の頭文字から「かせち条約」と名づけ、市内の中学生全員がしっかり取り組むこととしました。



神崎市中学生サミット会議

### 特色ある学校づくりで学力向上

学校教育では、各学校や地域の伝統、文化、風土を踏まえた「特色ある学校づくり」を進め、学力の向上につなげることをめざしています。学校ごとの体験学習も盛んです。障がいのある子どもに対して幼・保・小・中連携の特別支援教育や不登校児の適応支援教室も特徴です。



育振中学校の起業家教育

## 老 いも若きもいきいき生活

社会教育では、生涯学習機会提供と内容充実に努め、いきいき大学の受講生は年間400人を超えています。作家・下村湖人、吉田絃二郎を生んだ文化的・精神的風土に生まれ、文化的活動も盛んです。

スポーツでは中学剣道と高校新体操男子が全国トップクラスを誇り、神崎市長旗全国選抜中学生剣道大会を主催しています。吉野ヶ里ロードレース in 神崎市には全国から1500人が出場します。



吉野ヶ里ロードレース in 神崎市



いきいき大学開講式



市民の発表の場である文化祭



全国選抜中学生剣道大会



子ども相撲



カヌー教室

# あふれる笑顔 心はひとつ



元気かんだき市民交流祭



神埼そうめん祭り



子どもまつり



城原川ハンギーまつり



脊振町わんぱくまつり



長崎街道かんだき宿場まつり

## 神崎市歳時記

1月	横武百手まつり 吉野ヶ里ロードレース
2月	姉の七福神 大島水かけ祭り
3月	全国選抜中学生剣道大会
4月	仁比山神社大御田祭 (申年のみ) 榎田宮みゆき大祭 (隔年)
5月	神埼そうめん祭り 春の九年庵一般公開 子どもまつり
7月	長崎街道かんだき宿場まつり
8月	城原川ハンギーまつり 脊振町わんぱくまつり
10月	下村湖人生誕祭 高志神社秋季大祭
11月	脊振神社護摩焚き 秋の九年庵一般公開 吉田絃二郎生誕祭
	元気かんだき市民交流祭

# 行事

## イメージソング

### 「MY DEAR 神埼」

作詞：南英市  
作曲：神原広子  
補作詞：制作委員会  
編曲：渡辺雅二

1. 目覚めたばかりの朝の陽に  
脊振の山並み 光る雲  
大地をうろちる 城原の  
流れもきらめく 四季がある  
MY DEARふるさと 神埼は  
みんないきいき 集うまち

2. 笑顔がかなでる 人の和に  
温もりあふれる 菱の郷  
働く今日の歌声も  
弾んで明るい 明日がある  
MY DEARふるさと 神埼は  
みんなよろこび 励むまち

3. 弥生の昔も 今の世も  
夕日に染まる 神の里  
歴史と文化が 馥郁と  
香りもゆかしい 華がある  
MY DEARふるさと 神埼は  
みんなしあわせ 築くまち

MY DEARふるさと 神埼は  
みんなしあわせ 築くまち

## 音頭

### 「よかね神埼」

作詞：石井昭吉  
補作詞：制作委員会  
作曲：石橋序佳

1. 緑輝く 脊振の山に  
かかるとの輪 幸せ運ぶ(あつそれ)  
みんな揃って 楽しく踊る  
笑顔あふれる 明るいまちよ  
桜花咲き 稲穂が実る(よいしよ)  
よかね 神埼 虹を呼ぶ  
よかね 神埼 虹を呼ぶ  
(あつ それぞれ)

2. 風が奏でる 弥生の歌に  
夢が煌めき ときめく心(あつそれ)  
祭囃子に 榎田の杜よ  
浪漫あふれる 歴史のまちよ  
紅葉彩り 華やき添える(よいしよ)  
よかね 神埼 夢を呼ぶ  
よかね 神埼 夢を呼ぶ  
(あつ それぞれ)

3. 城原川に 若鮎踊り  
絆織りなす 次郎の里よ(あつそれ)  
心合せて 未来を拓く  
人と自然が 輝くまちよ  
希望 あふれて 世界へ伸びる  
よかね 神埼 明日を呼ぶ  
よかね 神埼 明日を呼ぶ  
(あつ それぞれ)

# 市民とともに神埼創造

## 行政

### 市民のニーズに対応

市民の行政に対する要望や期待等は年々増加し、多様化しています。その変化に対応すべく職員の資質向上を図り、市民サービスの向上に努めています。



## 市政



神埼庁舎



千代田庁舎



脊振庁舎

## 議会

### 市民の声を市政に

神埼市議会は、市民の代表者として選出された24名の議員によって構成され、年4回の定例会（通常3月、6月、9月、12月）と必要に応じて臨時会を開催し、市民の負託に応えるための議会運営を行っています。

市議会の最終的な決定は、本会議で行われますが、

審議をより効率的かつ専門的に詳しくするため、3つの委員会（議会運営委員会・常任委員会・特別委員会）を設置しています。

議会は、市民の声を反映し、市民の生活・福祉が向上するように活動しています。



本会議風景



現地研修及び視察研修

### 発行にあたって



神埼市は、平成18年3月20日に「神埼町」「千代田町」「脊振村」の3町村が合併して誕生しました。

私は、神埼市誕生から今日まで、市民の融和、相互理解を心がけ、公平公正、均衡ある発展を念頭に市政を進めてきました。なかでも元気かんざき市民交流祭の開催や神埼市の歌の作成、市民協働の推進等に取り組み、さらに財政再建に着手して経費削減等を行ってまいりました。

今後、行財政改革、市民協働によるまちづくりのさらなる推進、地場農産物・商工業製品の売上向上による収入と雇用の確保、市民の命と財産を守る社会資本の整備、高齢者と子どもにやさしい生活環境の改善、そして歴史文化遺産を活かしたまちづくりなどを進めてまいります。

平成24年2月

神埼市長 松本茂幸